

令和5年度佐賀市生活安全推進協議会

【開催日時】

令和6年2月14日（水）15時00分から16時30分まで

【開催場所】

佐賀市役所 大財別館 4-3会議室

【出席者】

委員：山口 夕妃子会長、宮崎 和彦副会長、石井 孝嗣委員、柴山 淳子委員、枝吉 千年世委員、石丸 正信委員、伊東 悦子委員、廣重 昭博委員、古川 俊一委員、貝原 真由美委員、山口 功規委員、溝辺 順子委員、嶋田 祐子委員、井上 章太郎委員、大松 明浩委員、片淵 明子委員（16名）

事務局：中島生活安全課長、龍主査、田中主査、溝内主事（4名）

【会議の公開又は非公開の別】

公開

【傍聴人の数】

0名

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 市内における犯罪の概況について
 - (2) ニセ電話詐欺・SNS等詐欺について
 - (3) 防犯カメラに関する施策について
- 4 連絡事項
- 5 閉会

【議事内容】

1 事務局からの説明内容

別紙議事資料のとおり

2 委員からの意見、質疑等

委員からの意見、質疑等	事務局等からの回答等
議事 1 市内における犯罪の概況について	
<p>(佐賀南警察署)</p> <ul style="list-style-type: none">・県内の刑法犯認知件数の 17%が南署管内で発生。・刑法犯の中でも窃盗、特に自転車盗が多く、万引きは微増している。・南署管内には、佐賀大学があり、大崎交差点から平松交差点までの南部バイパスを中心にアパートが密集しているため、自転車盗難が多い傾向にある。・久保田駅の駐輪場では、ボランティアの方々と自転車盗難防止の見回り等を行っている。・不動産屋には新入居者に向けた施錠促進のパンフレットを渡していただくようお願いしている。・二セ電話詐欺では、架空請求や投資や未公開株等の金融商品詐欺が発生。また、電子マネー購入による詐欺被害も発生。・繁華街での風営環境浄化の強化中。佐賀市の防犯カメラ増設には感謝している。	
<p>(佐賀北警察署)</p> <ul style="list-style-type: none">・簡単に線引きをすると、佐賀市役所より南が南署管内、北が北署管内となっている。・北署には、J R 佐賀駅、サガアリーナ、ゆめタウン、ドン・キホーテ、大和ジャスコ等の商業施設、3 4 号線のような主要道路、山間部などがある。人が集まる商業施設の犯罪発生傾向が高い。・北署管内での万引きや盗難の発生数は、不名誉であるが県内でワースト 1。・万引きは令和 5 年 1 1 0 件。自転車盗難 1 7 5 件。自転車盗難は令和 4 年の 8 5 件から約 2 倍に増加。・自転車の盗難を抑えることが、窃盗犯の件数を抑えることに繋がる。・自転車盗難の 9 割が無施錠。つまり、鍵をかけることで犯罪を抑止できると考えられるため、施錠の呼びかけを強化。	

<p>・佐賀駅周辺の風営浄化を強化。市や学生ボランティア等と共に、見回り活動を行った結果、少年補導に関する通報が減った。</p>	
<p>(会長) ・自転車盗難は、未成年の施錠忘れが多いと想定されるが、どのような状況か。</p>	<p>(佐賀南警察署) ・南署管内では、学生の被害も多いが、成人の被害割合も多い状況。</p> <p>(佐賀北警察署) ・北署管内では、被害者の大半が中高生であり、被疑者も中高生。足替わりに安易に犯行に走る。 ・小さい犯罪が大きな犯罪に繋がることを情報発信していくことが重要。</p>
<p>(会長) ・中高生の窃盗（自転車盗）が多いという説明であったが、その点に関して P T A や学校側から保護者等対して、何か対策などあれば説明を。</p>	<p>(佐賀県高等学校校長協会) ・自転車盗に関しては、警察と連携し指導を行っており、自転車盗の最新情報は警察からいただいている。</p>
<p>(佐賀県高等学校校長協会) ・昨年、県内の高校生による大麻所持の報道が出た時は、教職員の中でも激震が走りました。どれくらい高校生の中で大麻が広がっているのか、高校生だったから報道が大きかったのか。</p>	<p>(佐賀南警察署) ・大麻所持の若年化は、全国的な問題。自転車盗も同様。大麻はライブハウス等で若者に広がっている。大麻ゴミも問題になっており、「違法なもの」という意識より、「ステータス」「ファッションの1つ」という安易な考えがある。 ・高校生だけでなく、中学生にも大麻が及んでおり、昨年の逮捕は氷山の一角。小中学生の幼少期から、薬物の怖さや薬物乱用防止の意識付けや情報発信を行っていく。</p> <p>(佐賀北警察署) ・大麻や大麻ゴミが、インターネット（掲示板、サイト、SNS等）から入手しやすい状況があり、軽い気持ちで手に入れている。周囲の環境が悪くなっていくという悪循環。 ・昨年、公園の木を市に伐採してもらい、公園での死角を作らない環境整備の対策を行った。</p>
<p>(会長) ・警察の説明を受け、未成年者の取り巻く環境が難しい局面を迎えていると感じる。</p>	

<p>(会長)</p> <p>・薬物乱用防止に関する高校生に向けた対策はどのようなことをやっているのか。</p>	<p>(事務局 生活安全課)</p> <p>・市では佐賀県と協力し、市内18の市立中学生を対象とした「暴排教室」の中で、薬物乱用に関する講和を行っている。</p>
<p>(佐賀市子ども会連絡協議会)</p> <p>・ネットやSNSは子どもたちにとっては大事なアイテムだが、それを与えている保護者の携帯電話に関するリスクについて、啓発をもっとやってもらえないか。</p>	<p>(佐賀県高等学校校長協会)</p> <p>・県立高校では、佐賀県警と連携・協力し、毎年、「防犯教室」「薬物乱用防止教室」を行っている(義務)。</p>
	<p>(事務局 生活安全課)</p> <p>・御指摘の内容は、まなざし運動の中でも度々課題として取り上げられているかと思うが、市でも今行っているSNS等に関するリスク回避の啓発(携帯電話・スマホの使用方法等)手段の改善は、今後も検討していきたい。</p>
	<p>(佐賀市PTA協議会)</p> <p>・数年前に佐賀市PTA協議会と佐賀市教育委員会では、携帯電話・スマホは持たせないという方針であり、もし携帯電話・スマホを持つ場合のルール作り等と呼びかけたリーフレットを作成。現在、そのリーフレットの見直しを行っており、「携帯・スマホは保護者の持ち物であり、保護者が子どもの携帯・スマホの使い方についてはもっと注意を払い、保護者の責任の元、携帯・スマホを与える。」という保護者向けのリーフレットに改訂中。</p> <p>・完成後、子どもたちを通じて保護者へ配布予定。</p>
<p>委員からの意見、質疑等</p>	<p>事務局等からの回答等</p>
<p>議事2 ニセ電話詐欺・SNS等詐欺について</p>	
<p>(佐賀南警察署)</p> <p>・受け取りやすく、設置しやすい通帳サイズの啓発チラシを作成。郵便局に御協力いただいている。</p> <p>・年賀状受付開始日のキャンペーン時に、園児からキャッチフレーズ「はがきは送ってもお金は送るな」は、非常に好評であった。地域の方々とタイアップして啓発していくことが大事であると感じている。</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・県下では、オレオレ詐欺（70 歳代が多い傾向）、還付金詐欺（60 歳代）、預貯金詐欺（60 歳代）の被害者は女性のみ。融資保証詐欺の被害者は男性（30 歳代から 64 歳以下が多い）のみ。架空請求、金融商品詐欺は男女共に被害に遭っている。 ・年代別、性別を考慮した対策を検討して必要がある。 ・二セ電話詐欺の対策として、佐賀県から独居老人の方へ携帯録音機（5 分間録音可能）を準備。南署管内では、近々に東与賀で消防団と民生委員さんが独居老人世帯を訪問し配布予定。 	
<p>（佐賀北警察署）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被害がこれだけ起こっているということを市民の方が知っていただくことが大事であると感じている。 ・チラシ等に QR コードを添付。最新の被害状況（県警 HP）について情報発信している。 ・最後の砦である金融機関やコンビニ等との防犯訓練。実際に水際阻止をしていただいている。 ・理髪店組合の御協力でお客さんとの会話の中で二セ電話詐欺等に関する啓発を行っていただいた。 ・家電量販店の御協力で、PC や携帯販売時にサポート詐欺等に関する注意喚起（チラシ配布）を行っていただいている。「取説大作戦」 	
<p>（会長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各方面で、啓発、注意喚起等、色々と努力していただいているが、犯罪被害がまだまだ多いという現状がある。委員の皆様から効果的な対策に関する御意見や御質問、ありましたらお願いします。 ・詐欺被害等の実態を知ってもらうという意味では、報道機関の方々にも現状を伺いたい。 ・状況を知らないことには、対応のしようがない。市や県警の HP、報道等から情報を収集することも大切である。 	<p>（株式会社佐賀新聞社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐賀新聞社では、「あんぜんあんしん県さが」と題し、交通事故や犯罪のない心安らぐまち佐賀を目指して、特集を組んでいる。 ・11/20 に SNS 等詐欺に関する特集を組んだ。どういった手口で騙されているのか記事にし、注意喚起を行った。市民の皆様からもヒヤリとした事例、また、それをどうやって未然に防いだか等の情報をいただき、新聞でも報道させていただいている。 ・委員の皆様からも情報発信して欲しい案件があれば御連絡いただきたい。

	<p>(NHK 佐賀放送局)</p> <p>・このような犯罪はその時々で内容が変化している。去年、一昨年の犯罪がというより出来るだけ具体的に新しい情報を出していただき、それを積極的に報道していくということが大事ではないかと考える。</p>
	<p>(佐賀市自治会協議会)</p> <p>・「あんあんメール」でも注意喚起がなされているが、犯罪が多様化していると感じている。防犯協会の中でも、何か対応をしていく必要性を感じている。</p> <p>・地域安全ニュースについても、もっと人の目に触れるよう配布の仕方等を工夫していく必要があると痛感した。</p>
	<p>(事務局 生活安全課)</p> <p>・リアルタイムに色々な情報が入ってきている。佐賀北警察署から、令和5年中の二セ電話詐欺被害の状況について2/6に佐賀市の公式LINE及びX(旧ツイッター)で情報発信。</p> <p>・SNSでは情報が届きにくい世代には従来のチラシ配布や市報等を通じて注意喚起を促すとともに、リアルタイムの情報発信としてSNSを使った周知・啓発を行っていく。</p>
<p>委員からの意見、質疑等</p>	<p>事務局等からの回答等</p>
<p>議事3 防犯カメラに関する施策について</p>	
<p>(会長)</p> <p>・防犯カメラ設置の財源となる自動販売機設置について、この場で設置可能ですと即答できないかとは思いますが、ぜひ、それぞれの団体で検討をお願いします。</p> <p>・防犯カメラの設置は防犯上非常に有効である一方、個人情報の問題やプライバシーの問題もあるので、安易に設置とはならないとは思いますが、何か他に意見は。</p>	<p>・特に質疑無し</p>
<p>全体を通しての質問</p>	
<p>・業者が、突然、家を訪問してきて屋根の修理を推奨したため、その場で見積書を出してもらったら、非常に高いと感じたという話を聞いた。いくらからが高額請求詐欺で、そういう内容をどこに相談すればいいのか、教えていただきたい。</p>	<p>(佐賀南警察署)</p> <p>・消費関係の御相談は、基本的には消費生活センターが相談先になると思うが、屋根等の家に関する問題は、実際に自分が建てたハウスメーカー</p>

	<p>一等に問い合わせる等も一つの方法。</p> <p>・詐欺に関してだけでなく、まずは周囲に相談するということが大事。どこからが詐欺か、いくらからが詐欺かという線引きは非常に判断が難しい。</p>
<p>(会長)</p> <p>・この場で審議した内容を、各団体、各方面で情報共有、御協議していただくことが非常に重要であると感じている。</p> <p>・この場で審議した内容を、市の施策に反映させていただきたい。</p>	